

日本社会学会会員の皆様へ

日本社会学会会長 矢澤 修次郎

2011年3月11日東日本大震災が起きました。地震と津波によるその被害は、私たちの想像を遥かに越えたものになり、日に日に拡大しつつあります。また福島原子力発電所の受けた損傷も甚大で、その結果が如何なるものになるかは未だ定かではないものの、すでに今後のグローバル社会の行く末を左右する程重大な問題を投げかけつつあります。

この震災の被害に遭われた多くの会員の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。学会は日本学術会議社会学委員会、社会学系コンソーシアムなどと協力して、救援、情報提供、専門的知識の提供、震災からの復興支援など、できうる限りのことを実行してまいります。皆様からの要望、提案などございましたら、お知らせください。また多くの会員におかれましては、困難な日々が続くことと思いますが、くれぐれもお気をつけてお過ごしください。よろしくお願いいたします。

海外の学会からも、学会ならびに学会員に向けて、多くのお見舞い状、連帯状が届いております。そこでも指摘されているように、この大災害は、一つの国民社会に責任を持つ社会科学、社会学者として、学会として、自らの学問内容そのものの根底的な再検討を迫るものでもあると思います。日本社会学会は学会活動を、あらゆる角度から災害の問題を解明することを根底に据えて、外国の学会、国際学会とも協力し、より一層充実したものにすべく努力してゆく所存です。

2011年3月23日